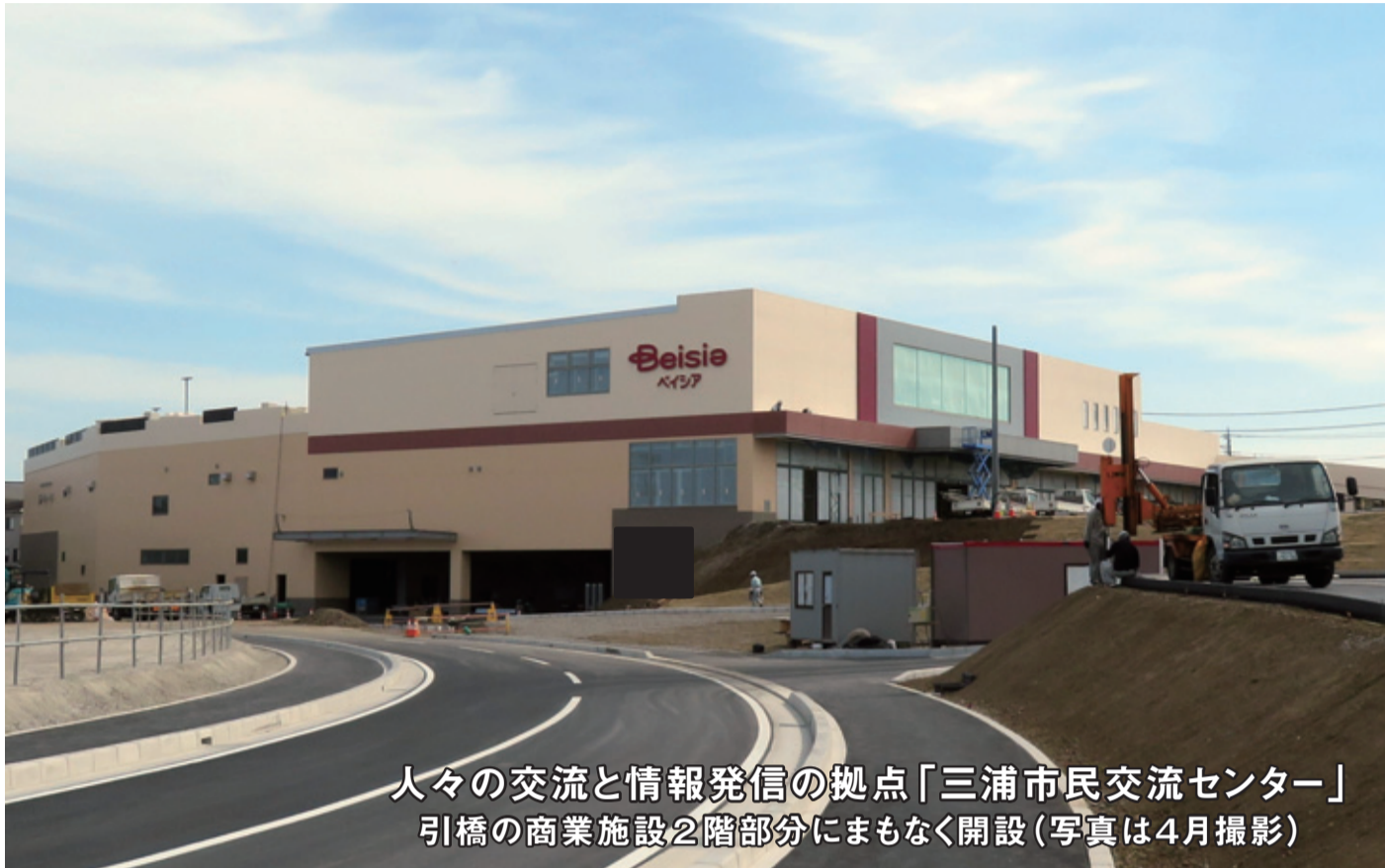


三浦市議会だより

第1回定例会

平成三十一年度予算成立 市税条例や国保税条例を改正



人々の交流と情報発信の拠点「三浦市民交流センター」
 引橋の商業施設2階部分にまもなく開設(写真は4月撮影)

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
2月25日	月	本会議	会期の決定、施政方針
26日	火	本会議	一般質問
27日	水	本会議	一般質問
28日	木	本会議	一般質問、議案の審議(説明・質疑・委員会付託)、 予算審査特別委員会の設置
3月1日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
4日	月	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
6日	水	予算審査特別委員会	議案の審査
7日	木		
8日	金		
12日	火		
14日	木	上水道事業に関する特別委員会	三浦市の上水道事業に関する審査
		三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会	三浦国際市民マラソン事業に関する調査
19日	火	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・予算審査の各委員長報告・討論・採決)、追加議案の審議、三浦市の上水道事業に関する審査について、人事案件(監査委員、固定資産評価審査委員会委員)、閉会中継続審査申し出、報告、議長並びに市長挨拶

平成三十一年第一回定例会は、二月二十五日から二十三日間を会期として開かれました。
 今定例会では、平成三十一年度各会計予算など二十六議案を審議しました。また、上水道事業に関する特別委員会が審査を終え、審査結果の報告を行いました。

〈議会だより第136号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
予算審査特別委員会	1～2面
常任委員会	2面
一般質問	3～6面
陳情の審査	7面
上水道事業に関する特別委員会	7面
議会の活動から	7面
本会議における討論	7面
議案等の審議結果	8面
人事	8面
任期末のあいさつ	8面
臨時会、定例会の予定	8面

予算審査特別委員会 議案の審査概要

平成三十一年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の予算議案は、八人の委員で構成する予算審査特別委員会に付託され、四日間に行われ審査されました。

予算審査特別委員会

- 委員長 草間道治
 副委員長 小林直樹
 委員 石橋むつみ
 寺田一樹
 長島満理子
 出口正雄
 藤田昇
 出口眞琴

総括質疑 市政全般にわたり 市長に質疑

市の重点施策

質問 平成三十一年度予算編成で市長が重点を置いた施策は何か。

答弁 市民生活に直接影響するような事業に重点的に配分した。

目玉としては、ごみ処理広域化に伴う施設整備や、小中学校のエアコン整備に係る事業を挙げたい。

水道料金の値上げは

質問 水道事業の経営状況が厳しいが、水道料金値上げに対する市長の考え方は。

答弁 自分の任期中は値上げをしないという方針は明確に打ち出している。

値上げせざるを得ない環境になりつつあるが、将来的な構想がない中で上げることにはできないと思っているので、今後、水道事業のあり方等について詰めを行っていく。

市民交流拠点整備

質問 三崎高校跡地にベイシアと市民交流センターがオープンし、三浦市に新たな流れができることについて、感想をお聞きたい。

答弁 さまざまな協議に時間を要したが、やっとなスムーズに進むことになった。交通の混雑など課題はあるが、市民交流拠点としての機能を充実させるように進めたい。

(その他の質疑項目)

- ・三崎漁港の活性化について
- ・市の職員数が減っている状況と定数管理計画の策定について

一般会計

歳入

- ・市民税と固定資産税の収入増を見込んだ理由について
- ・税の徴収強化に向けた人的体制について
- ・広告掲載料の設定方法について

歳出

- 総務費
 - ・市民交流センターに関する市民説明会について
 - ・防犯協会が行う振り込め詐欺防止電話貸付事業に対する補助金について
- 民生費
 - ・学童保育クラブの運営支援について
 - ・生活困窮者自立支援事業に関する予算の増額について
- 衛生費
 - ・未病改善の取り組みについて
- ・ごみ収集業務の民間委託化について
- 意見
 - ・ごみの分別方法の変更が予定されているが、混乱が生じないように丁寧な周知をしてほしい。
- 農林水産業費
 - ・農道整備事業における整備箇所の選定方法について
 - ・市営漁港の維持管理について
- 商工費
 - ・三浦国際市民マラソンで新たに取り組ん

だ事項について
意見 三十一年度は、みうらブランド商品支援に係る事業費を廃止して、今後の在り方が検討される。このことで、ブランドのバージョンアップが図られることに期待したい。

- 土木費
 - ・小網代の森インフォメーションスペースの運営について
 - ・子育て賃貸住宅の整備に向けたスケジュールについて
- 消防費
 - ・横須賀市との広域消防に係る委託料が増加した要因について
 - ・消防分団詰所の修繕について
- 教育費
 - ・三地区で行われている市民スポーツ大会の開催予定について
 - ・就学援助制度に係る国の補助単価と市の支給額について
- 公債費
 - ・実質公債費比率の見込みと今後の起債額について

する保険料の賦課について
介護保険事業

- ・地域包括支援センターの配置について
- ・フレイル予防の推進について

市場事業

- ・漁船誘致活動について

- ・製氷施設の使用料収入が減少する理由について
- 公共下水道事業
 - ・コンセッション方式による事業開始に向

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

◎三浦市子育て賃貸住宅等PFI事業審議会
 条例
 本案は、本市の子育て賃貸住宅等の整備事業に係る調査・審議を行うための機関を設置するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 審議会が行う調査の内容について

◎三浦市市税条例等の一部を改正する条例
 本案は、法改正に伴い、規定の整備を行うものです。
 (質疑の主な項目)
意見 地域性を生かした施設整備ができるように、十分に市民の声を反映した審議を進めてほしい。

◎三浦市個人情報保護条例の一部を改正する条例
 本案は、本市の子育て賃貸住宅等の整備事業に係る調査・審議を行うための機関を設置するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 地域性を生かした施設整備ができるように、十分に市民の声を反映した審議を進めてほしい。

けたスケジュールについて
意見 供用区域内で公共下水道に接続していない世帯がある。市税等の徴収強化をしている現状や、使用料の福祉減免の廃止、接続している家庭の不公平感を考慮して、接続を促進することを求める。

方式導入に反対する。第三セクター等改革推進債償還事業
意見 第三セクター等改革推進債は土地開発公社解散による借金を市が肩代わりしているものであり、本会計に賛成できない。

病院事業
 ・業務予定量の積算の根拠について
意見 コンセッション方式導入をスケジュールどおり進捗するように求める。

三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例
 本案は、市場の事務室使用料の額を改正するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 あいっている事務室の利用が進むような取り組みを求める。

指定管理者の指定について
 本案は、三浦市民交流センターの指定管理者として、特定非営利活動法人YMCACOMIユニティサポートを指定するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 総所得金額が三十三万円以下の世帯の保険料が値上げされること等から、本案に賛成できない。

三浦市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
 本案は、法改正に伴い、規定の整備を行うものです。
 (質疑の主な項目)
意見 災害援護資金貸し付けの実績について

国保税の被保険者均等割額の、現行との

都市厚生

◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 本案は、標準保険料率が県から示されたこととに伴い、保険税の基礎課税額等の税率等を改定するほか、旧被扶養者減免の特例の一部を廃止するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 十月に消費税率を一〇%にすることを前提とした改正である

◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 本案は、標準保険料率が県から示されたこととに伴い、保険税の基礎課税額等の税率等を改定するほか、旧被扶養者減免の特例の一部を廃止するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 十月に消費税率を一〇%にすることを前提とした改正である

◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 本案は、標準保険料率が県から示されたこととに伴い、保険税の基礎課税額等の税率等を改定するほか、旧被扶養者減免の特例の一部を廃止するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 十月に消費税率を一〇%にすることを前提とした改正である

◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 本案は、標準保険料率が県から示されたこととに伴い、保険税の基礎課税額等の税率等を改定するほか、旧被扶養者減免の特例の一部を廃止するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 十月に消費税率を一〇%にすることを前提とした改正である

◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 本案は、標準保険料率が県から示されたこととに伴い、保険税の基礎課税額等の税率等を改定するほか、旧被扶養者減免の特例の一部を廃止するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 十月に消費税率を一〇%にすることを前提とした改正である

◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 本案は、標準保険料率が県から示されたこととに伴い、保険税の基礎課税額等の税率等を改定するほか、旧被扶養者減免の特例の一部を廃止するものです。
 (質疑の主な項目)
意見 十月に消費税率を一〇%にすることを前提とした改正である

経営について
水道事業

- ・水道事業の経営と、一般会計からの補助金の額について

意見 三十一年度から水道料金の福祉減免が廃止され、低所得者に大きな影響があることから、本案に賛成できない。

質疑終了後は、討論が行われました。
一般会計

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

国民健康保険事業

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

公共下水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

質疑終了後は、討論が行われました。
一般会計

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

国民健康保険事業

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

公共下水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

質疑終了後は、討論が行われました。
一般会計

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

国民健康保険事業

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

公共下水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

質疑終了後は、討論が行われました。
一般会計

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

国民健康保険事業

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

公共下水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

質疑終了後は、討論が行われました。
一般会計

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

国民健康保険事業

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

公共下水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

質疑終了後は、討論が行われました。
一般会計

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

国民健康保険事業

- 小林直樹副委員長より、低所得者層の国保

公共下水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

水道事業

- 小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百

り、適切な市職員の採用及び就学援助制度のさらなる拡充が必要であること等が反対の理由として述べられました。

○長島満理子委員長より、小中学校へのエアコン設置や、市民交流拠点整備事業等による効果が期待されること等が賛成の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百万円以上の負担が生じることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百万円以上の負担が生じることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百万円以上の負担が生じることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百万円以上の負担が生じることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、水道料金の福祉減免制度を廃止し、八百万円以上の負担が生じることが反対の理由として述べられました。

税の値上げがされること等が反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、後期高齢者医療制度そのものに反対であることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、後期高齢者医療制度そのものに反対であることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、後期高齢者医療制度そのものに反対であることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、後期高齢者医療制度そのものに反対であることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、後期高齢者医療制度そのものに反対であることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、後期高齢者医療制度そのものに反対であることが反対の理由として述べられました。

れました。
第三セクター等改革推進債償還事業

- 小林直樹副委員長より、本会計が二町谷埋立事業等の借金を返済するためのものであることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、本会計が二町谷埋立事業等の借金を返済するためのものであることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、本会計が二町谷埋立事業等の借金を返済するためのものであることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、本会計が二町谷埋立事業等の借金を返済するためのものであることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、本会計が二町谷埋立事業等の借金を返済するためのものであることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、本会計が二町谷埋立事業等の借金を返済するためのものであることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、本会計が二町谷埋立事業等の借金を返済するためのものであることが反対の理由として述べられました。

※ フレイル……加齢によるさまざまな機能低下により健康に支障が生じた状態で、健康な状態と要介護状態の中間的な段階
 ※ コンセッション方式……料金収入がある公共施設について、市が所有権を有したまま施設の運営権を民間事業者を設定する方式

- 市民活動の広がり (みうら市政会 長島満理子) 3面
- 市立病院へのアクセス (日本共産党 石橋むつみ) 3面
- 移住促進の取り組み (公明党 藤田 昇) 4面
- 新たな雇用環境の創出 (自由民主党 出口正雄) 4面
- 住みなれた地域で暮らす (無所属 下田 剛) 4面
- 観光振興による消費拡大 (みうら市政会 出口眞琴) 5面
- 子育て世帯の負担軽減 (日本共産党 布川照美) 5面
- 二町谷地区への企業誘致 (無所属 寺田一樹) 5面
- 液体ミルクの備蓄を (みうら市政会 神田眞弓) 6面
- 市民協働による緑化推進 (日本共産党 小林直樹) 6面
- 漁船の誘致活動 (みうら市政会 草間道治) 6面



市民活動の広がり

桜まつり、学習環境の向上

みうら市政会 長島 満理子

質問 二月に「三浦百人男女会」地元未来を大いに語ろう」と題し、男女共同参画推進に関する講座が開催された。

このときに出された意見や得られた知見、つながりをどのように受けとめ、今後の市政運営に生かすのか。

市長 講座ではさまざまな意見があり、その中で、市民同士のコミュニケーションを広げ

る場を求めているという指摘があった。今後開設する市民交流センターでは、市民活動を広げる講座や交流を促進する催しを積極的に実施して、市民活動の活発化や交流を育むような運営をしていきたい。

三浦海岸駅からの回遊 二月五日から開催された三浦海岸桜まつりでは、回遊性向上

を伝えているとのことだが、その内容は。

市長 直近では、①市立病院と三崎口駅間及び市立病院と三崎港・浜諸磯間の増便、②油壺と三崎東岡間の午前十一時以前の時間帯の増便、③城ヶ島や油壺から乗りかえなしで向かうバス路線の新設について要望をした。

策として、みうらレンタサイクル三浦海岸ポートを起点とした取り組みがされている。駅前前のテント村に三浦海岸ポート臨時受付所を設置して三浦海岸ポート記念キャンペーンが行われたが、この実施状況と期待される効果を伺いたい。

市長 実施したキャンペーンは、当初、天候に恵まれず低調だったが、その後は配置台数を増加したと伺っている。

臨時受付所では、レンタルサイクル利用者への東海岸ルートへの誘導や、QRコードを活用した飲食店情報の提示

からの処理など大きな費用負担になると思うが、市の財政が大変厳しい中で、なぜこの時期に解体することに

なったのか。

総務部長 市有施設は老朽化が進んでいるものが多く、維持管理や解体の財源確保が課題となっている。

総務省が、この財源として公共施設等適正管理事業債を創設したことを受け、活用条件である公共施設総合管理計画を策定し、旧青少年会館の解体をすす

める方針を位置づけた。財源確保の見通しがついたため、当初予算案に解体事業として計

画を位置づけた。財源確保の見通しがついたため、当初予算案に解体事業として計

画を位置づけた。財源確保の見通しがついたため、当初予算案に解体事業として計

画を位置づけた。財源確保の見通しがついたため、当初予算案に解体事業として計

供を行った。

キャンペーンを通して、みうらレンタサイクルの認知度向上と東海岸ルートの活用が進むことを期待したい。

みうらっ子のために

質問 平成三十一年度

に、小中学校の教室にエアコンを設置する。

当初の予定から、中学校の特別教室や一部の普通教室への設置が見送られたが、夏季における三浦の子供たちの安全確保は十分にされるのか。

教育長 ほぼ全ての普通教室にエアコンが設置されるため、夏季における安全な授業の実

施の充実を

質問 昨年十一月に、心身障害児生活訓練会の親御さんと市長とのトーク&トークが行われた。提起された要望などを受けとめて、ぜひ取り組みや対応を検討

したものである。

障害者福祉施策をより充実するために、当事者や関係者の声をどのように酌み取り、計画や施策に反映させているのか伺いたい。

保健福祉部長 当事者団体や関係機関職員等を構成員とする三浦市

障害者福祉計画推進懇談会を開催しており、意見を施策に取り入れるように努めている。懇談会以外にも、障害者自立支援協議会を運営し、障害者が地域で暮らすために必要な課題などについて検討を行っている。

市立病院へのアクセス

旧青少年会館の解体、障害者福祉

日本共産党 石橋 むつみ

質問 三浦市立病院に行くのは不便だという市民の声がある。市立病院に向かう路線バスは、三崎口駅発と浜諸磯発の二系統、朝の二便だけとなっている。市は京急バスに要望

は、旧青少年会館の解体が予定されている。

は、旧青少年会館の解体が予定されている。



解体される旧青少年会館



桜まつりでにぎわう駅前

移住促進の取り組み

子育て賃貸住宅、風疹対策

公明党 藤田 昇

質問 市長は施政方針で、三浦市への移住・定住の促進に取り組むことを述べている。

業者との連携など、さまざまな施策を展開している。

相談窓口や情報発信の取り組みなど、移住施策については着実に展開してきていると感じるが、来年度の取り組みをお聞きしたい。

市長 移住促進については、トライアルステイの開催や移住冊子の作成、ハローワークや市内の企業、不動産事

子育て賃貸住宅等整備事業は、人口増加、転出抑制対策として重要な施策で、大いに期待できるものだが、この事業に対する市長の考えを伺う。

市長 子育て賃貸住宅は、子育て世代が安心して子供を産み、健やかに成長させる環境を整えるために重要な施設と考えている。

そのほかにも、市外から訪れる方々が立ち寄りやすい環境を整えることを含め、三浦市で暮らしたい、三浦市が好きな環境になることを期待している。

質問 本市の人口は、平成七年をピークに減少が続いている。

三浦市の対応は 風疹の患者が増加しており、大流行の可能性を想定する必要があるのではないかと警戒されている。

厚生労働省は予防接種法施行令を改正しており、今後は風疹抗体価が低いとされる、現在三十九歳から五十六歳の男性に対する抗体検査と予防接種を実施するようになると思うが、風疹対策に関する今後の見通しは。

市長 市民の健康を守るため、厚生労働省の対策を本市としても着実に実行したい。

四月以降に、定期接種対象者に対する抗体

検査や予防接種の勧奨をしていく予定で、現在、準備をしている。また、厚生労働省は

無料クーポン券を発送する方針を示している。ので、本市もこの方針に準ずる予定である。



暮らしたい町に

新たな雇用環境の創出

市財政の健全化

自由民主党 出口 正雄

※は欄外に説明を記載

つける重要なアイテムは、回遊性の向上による滞在時間の延長である。

テレビの旅番組やグルメ番組を見ると、共通する風景は食べ歩きだと感じる。食べ歩きメニューの開発コンクールを企画することも一案だと思ふ。

市長 ①三浦市を代表する食べ歩きイベントは、みうら夜市である。食べ歩きと、それ

に合ったメニューの開発を促進するためには、みうら夜市のような総合的な環境整備が必要だと考えている。メニューの考案についてコンクールを実施することとは、今後の手法の一つだと思ふ。

市長 ①三浦市を代表する食べ歩きイベントは、みうら夜市である。食べ歩きと、それ

そのほか、特性のある、三浦市の海洋教育を活用した教育旅行なども検討したい。

質問 今定例会に来年度予算案が提案されているが、一般会計は過去最大の百九十一億円余りとなった。

その中で、経常収支比率が増加していることには、早急に対策をとる必要があると考え

られる。このままでは新規事業を見込むことが難しくなることは明白だが、今後の見直しをお聞きしたい。

比率が一〇〇%を上回る状況が続いている。平成三十五年度までの財政推計では、*実質公債費比率が一八%を超えることはない試算しているが、今後安定した財政運営と健全化に向けた取り組みを継続したい。

市長 三浦市の場合、地方税の減少や扶助費の増加、第三セクター改革推進償還の影響などから、経常収支

市を代表するイベント「みうら夜市」

「福祉」とは、幸せ、豊かさという意味である。三浦市内に心のバリアフリーやノーマライゼーションの精神が浸透していくことを切に願っている。

市として高齢者福祉について、当事者とご家族、あるいは介護施設で働かれている職員に対して、現在の課題や将来をどのように考えているか。

保健福祉部長 当事者とご家族に対しては、高齢化が進んでいく中で、「これからは住みなれた地域で安心して生活ができる」ために、と考えている。課題としては、多職種の連携の強化や、地域ごとの特性を把握することが考えられる。

介護施設で働かれている職員については、生産年齢人口の減少が予測される中で、介護職員の労働環境を改善していくことが課題だと考えている。

防災・減災 質問 施政方針で「市民のいのちを守る災害への備え」について述

住みなれた地域で暮らす

防災力の向上、みうらっ子を育てる

無所属 下田 剛

質問 「福祉」とは、幸せ、豊かさという意味である。三浦市内に心のバリアフリーやノーマライゼーションの精神が浸透していくことを切に願っている。

市として高齢者福祉について、当事者とご家族、あるいは介護施設で働かれている職員に対して、現在の課題や将来をどのように考えているか。

保健福祉部長 当事者とご家族に対しては、高齢化が進んでいく中で、「これからは住みなれた地域で安心して生活ができる」ために、と考えている。課題としては、多職種の連携の強化や、地域ごとの特性を把握することが考えられる。

教育において、三浦らしさを生かした海洋教育や職業体験などに取り組んでいる。

これらを踏まえて、みうらっ子として育てたい子供像をお聞きする。

教育長 三浦の子供たちには、未来の社会を力強く、しなやかに生き抜く力を身につけるとともに、三浦のよさを実感し、郷土を愛する心を持ってもらえることを願っている。

そのためには、日々の教科学習はもちろんのこと、地域の方々などつながりを持ち、三浦は「あったかいまち」であることを体感させながら、新学習指導要領で求められる主体的対話的な深い学びを実践したい。

三浦らしい教育 質問 本市では、学校

継続した訓練を

市全体は、防災力を向上させていく上で、特に重要だと捉えていることをお聞きしたい。

総務部長 訓練を継続することが特に重要であり、あらゆる災害を想定した訓練が、災害全般への対応力を高めることにつながると考えている。

※ 実質公債費比率……3年間の平均が18%を超えると、起債をする際に県の許可が必要（起債許可団体）となる

観光振興による消費拡大

児童虐待への対策、三崎臨海実験所

みうら市政会 出口 眞琴

質問 来遊客の滞在時間を延ばす取り組みとして、クルージングや屋形船、星空観賞イベントなど、いろいろな案が考えられる。昼から夜まで滞在してもらえらる体験型コンテンツの取り組みが必要だと思ふが、市の考えは。

市長 三方を海に囲まれた三浦市では、船を活用した体験型のコンテンツは有効だと考える。

三崎と油壺など、市内を海で回遊できる仕掛けの検討が必要だと考えているので、市内で実施するイベントでのクルーズの事業化について、ぜひ検証していきたい。

保健福祉部長 相談方法としては、市の子ども課への連絡のほか、二十四時間対応の児童相談所全国共通ダイヤルがある。

政策部長 記念館の解体工事は、平成三十一年十一月から三十二年三月末までの間で実施すると聞いている。

新棟の建設は、平成三十一年三月中旬から五月まで準備工事を行い、その後、本工事が平成三十二年三月末まで予定されている。

地域での連携

質問 千葉県野田市で小学生が虐待死するという痛ましい事件が起きた。

助けを必要としている子供を見逃すことがないように、関係機関と緊密な関係をつくって、積極的に情報交換を行い、より子供に寄り添った取り組みをす

工事の日程は

質問 油壺の東京大学三崎臨海実験所は、記念館の解体と新施設建設のための工事が予定されている。

解体する記念館へ行く道は大変狭い道路しかなく、工事の際には瓦れき等の搬出による車両の出入りや交通規制など、地域への影響が考えられる。今後の工事のスケジュールは確認しているか。

瓦れき等の搬出による車両の出入りや交通規制など、地域への影響が考えられる。今後の工事のスケジュールは確認しているか。

解体する記念館へ行く道は大変狭い道路しかなく、工事の際には瓦れき等の搬出による車両の出入りや交通規制など、地域への影響が考えられる。今後の工事のスケジュールは確認しているか。

解体する記念館へ行く道は大変狭い道路しかなく、工事の際には瓦れき等の搬出による車両の出入りや交通規制など、地域への影響が考えられる。今後の工事のスケジュールは確認しているか。

解体する記念館へ行く道は大変狭い道路しかなく、工事の際には瓦れき等の搬出による車両の出入りや交通規制など、地域への影響が考えられる。今後の工事のスケジュールは確認しているか。



三崎臨海実験所 (記念館)

子育て世帯の負担軽減

自然災害への備え

日本共産党 布川 照美

質問 国民健康保険税の均等割は、収入のない子供についても人数分が賦課される。石川県加賀市では、子育て世帯の負担軽減を図るため、平成三十二年度から子供に係る均等割を免除している。三浦市も子供に係る均等割の負担軽減を行うべきと考えるが、見解をお聞かせください。

市長 子供の均等割の負担軽減を行った場合

津波避難訓練

津波は、波が見えてからでは逃げ切れないので、海岸で揺れ

津波避難訓練

津波は、波が見えてからでは逃げ切れないので、海岸で揺れ

津波避難訓練

津波は、波が見えてからでは逃げ切れないので、海岸で揺れ

二町谷地区への企業誘致

市立病院の経営改善、外来受診

無所属 寺田 一樹

質問 二町谷地区の水産関連施設事業用地には六社が立地し、用地全体の四〇%強が活用されており、残る用地の早期活用が待ち望まれる。

現在、複数の事業者

を感じたらすぐに逃げなければならぬ。

十二月に津波ハザードマップが市民に配布された。津波に対する意識啓発とあわせて、津波避難訓練の実施が必要だと考えるが、市の考えは。

市長 市民の命を守るためには、新しい津波ハザードマップ等による防災意識の向上と避難訓練の実施が重要だと考える。

津波避難訓練

津波は、波が見えてからでは逃げ切れないので、海岸で揺れ

津波避難訓練

津波は、波が見えてからでは逃げ切れないので、海岸で揺れ

津波避難訓練

津波は、波が見えてからでは逃げ切れないので、海岸で揺れ

津波避難訓練

ように努力したい。

質問 大規模地震が発生した際、水道管の破裂等により断水が起ると、給水車での応急給水が行われる。

三浦市では、災害時における飲料水の確保や、給水車による応急給水の備えはどのようなになっているのか。

上下水道部長 災害時は、飲料水を得られない者に対し、一日一人三リットルの応急給水を行う。

このため、市内四カ所に飲料水兼用耐震性貯水槽を設置しているほか、四カ所の配水池

選ばれる病院へ

現時点でも市立病院の外来患者数が落ち込んでいる上に、うわまち病院が移転してくるという点では、今か

現時点でも市立病院の外来患者数が落ち込んでいる上に、うわまち病院が移転してくるという点では、今か

現時点でも市立病院の外来患者数が落ち込んでいる上に、うわまち病院が移転してくるという点では、今か

現時点でも市立病院の外来患者数が落ち込んでいる上に、うわまち病院が移転してくるという点では、今か

に貯水量を確保するための緊急遮断弁を設置している。

確保した飲料水は、

給水タンクを利用してトラックに積載し、避難所等を中心に応急給水を実施する。

給水タンクを利用してトラックに積載し、避難所等を中心に応急給水を実施する。

給水タンクを利用してトラックに積載し、避難所等を中心に応急給水を実施する。

給水タンクを利用してトラックに積載し、避難所等を中心に応急給水を実施する。

給水タンクを利用してトラックに積載し、避難所等を中心に応急給水を実施する。

給水タンクを利用してトラックに積載し、避難所等を中心に応急給水を実施する。

給水タンクを利用してトラックに積載し、避難所等を中心に応急給水を実施する。

給水タンクを利用してトラックに積載し、避難所等を中心に応急給水を実施する。



津波対策訓練の様子



さらなる企業誘致を (二町谷)

液体ミルクの備蓄を

「ごみ処理広域化、みこしパレード」

みうら市政会 神田 真司

質問 平成三十一年度のみうらっ子応援プロジェクトでは、災害時の備えとして、乳幼児用食料等の整備を目標の一つに掲げている。

災害時は衛生的な水の確保が難しくなる可能性があるため、乳幼児用食料として、粉ミルクと並行して液体ミルクを備蓄してはどうか。

総務部長 液体ミルクは、お湯で溶かすことは、お湯で溶かすこと

十分な周知を
質問 横須賀市とのご

市民協働による緑化推進

二町谷地区の利活用、市立病院

日本共産党 小林 直樹

質問 緑は、自然環境を維持し、生活環境に潤いを与えるなど、暮らしやすく魅力あるまちづくりになくてはならない要素である。みどりの基本計画では、市有地を活用して

緑化事業に使用する草花を市民が育てる「グリーンバンク制度」の創設を検討するとしているが、どのような状況か。

都市環境部長 計画に位置づけたグリーンバンク制度は、市有地の確保など課題が多く、取り組みが進んでいない状況にある。しかし、緑の市民会議の中で、ボランティア団体が花の種等を市民まつりで配布して緑化を進める取り組みが提案されたので、これをベースにグリーンバンク制度に発展できないか検討を進めたい。

地区計画の見直し 市は、二町谷地区の多目的活用事業用地で住宅の建設や道路のつけかえを可能とするために、地区計画の見直しを進めている。浮き桟橋の設置に関する漁協の承諾がまだ得られていないが、先行して地区計画の見直しを進めるのか。

市長 地区計画の見直しをする区域は、護岸や岸壁などの内側にある土地が対象となっている。浮き桟橋は区域外の水面に設置するので、漁協との協議の状況にかかわらず、地区計画見直しの手続きは進めら

れると考えている。
診療所との連携 訪問診療を行っていた医師を含む、医師二人が市立病院を退職して、市内で開業する。市民に与える影響をできるだけ少なくし、

三浦市の地域医療を守っていかねばならないが、開業される診療所と市立病院との連携についてどのように考えているか。
病院事務局長 今まで市立病院における訪問診療を受けていた方が引き続き必要な診療を

受けられるように、当該医師と調整を図っていく。
さらに、当該医師の診療所で在宅医療を実施する中で、疾患の増悪など入院治療が必要な場合は、市立病院が受け皿として連携していく予定である。

市長 市場の改修完了を見据え、餌などの補給に有利な立地を生かして、県外のカツオ漁船など、沿岸・沖合漁船の誘致活動に取り組みたいと考えている。
水産関係団体と協力して、三崎魚市場の取扱量の増加につなげたい。

質問 喜ばれる大会に
質問 今回の三浦国際市民マラソンでは、三

み処理広域化に伴い、ごみの分別方法が平成三十二年一月に変更される。分別方法に関する説明会は、九月から十一月まで、区や自治会単位で行われる。本市はひとり暮らしの高齢者が多いので、三カ月という短い期間で周知が十分に図られるか心配である。

市長 市民には、わかりやすく丁寧な説明を行っていくことはもちろんだが、現在の分別区分との混乱が生じないように、九月から説明会を開催したいと考えている。

広域化開始後も、多少混乱することが予想される。また、みこしパレードは全国朝市サミットと同日に三崎港周辺で実施される予定であり、さらに、城ヶ島大橋のライトアップも同時期

で行われるので、継続して周知していく必要があると考えている。
質問 市民の有志が主体となったみこしパレードが、新たな取り組みとして企画されている。

市長の施政方針ではこのイベントを支援していく姿勢が示されていたが、具体的にどのような方法で支援していくのか。

市長 みこしパレードは全国朝市サミットと同日に三崎港周辺で実施される予定であり、さらに、城ヶ島大橋のライトアップも同時期

で行われるので、継続して周知していく必要があると考えている。

果を上げて成功するようには、PRなどを中心とした支援、調整をしていきたい。



緑化ボランティアによる植栽



みこしパレードは11月に開催予定

漁船の誘致活動

三浦国際市民マラソン、人口減少対策

みうら市政会 草間 道治

浦の大根を使用したたくあんがランナーに提供される。今後、こうした新たな取り組みでランナーや会場に来た方に喜んでもらえる大会になるように努めてほしいが、市長の考えは。

市長 たくあんの提供は、ランナーにも、大会の独自性にも効果を発揮するのではないかと考えている。そのほか、特別協賛企業であるミズノ製のTシャツの配布や、国士館大学の協力による救護体制の強化等にも取り組んでいる。ランナーへのホスピタリティーの向上に努め、独自性に富んだ質の高い大会を目指していきたい。



三浦国際市民マラソンのたくあん給食所

質問 沿岸卸売市場の改修工事は、平成三十二年九月の完成を目指して実施される。今後、新しくなった市場を維持するために漁船の誘致活動が重要だと考える。平成三十一年度の市長のトクプセールスでは、新たに沿岸・沖合漁船の誘致に取り組みとされているが、具体的な予定をお聞きしたい。

市長 市場の改修完了を見据え、餌などの補給に有利な立地を生かして、県外のカツオ漁船など、沿岸・沖合漁船の誘致活動に取り組みたいと考えている。

土地利用の促進を
質問 人口減少対策では、雇用の創出や住宅開発による定住人口の増加が重要である。小田原市では、建築等の行為が制限されている市街化調整区域内での宅地造成を可能とする開発許可制度を創設した。市街化調整区域の割合が非常に高い本市でも、こういった検討をしてほしい。

市長 人口減少や高齢化が続いている本市としては、小田原市のような市街化調整区域における土地利用の手法を研究していく必要があると考える。三浦市内の都市計画法に基づく許認可権者である県とも調整しながら検討していきたい。

常任委員会での陳情の審査結果

3月定例会では、継続審査中の陳情32件を審査しました。今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	「就学援助制度」改善についての陳情書	審議未了

なお、引き続き継続審査となった31件については、議員の任期満了に伴い、4月30日をもって審議未了となりました。

新たに提出された陳情

◎陳情書(全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める)(委員会付託なし)

趣旨 本陳情は、表題の事項を行うよう求めています。

◎奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書(委員会付託なし)

趣旨 本陳情は、山の保水力回復、災害に強い森づくり、花粉症の軽減等を目的として、放置人工林を天然林に戻していくことを求めています。

上水道事業に関する特別委員会 審査報告

▼当委員会は、市の水道事業に関する課題等を議論するために設置され、三回にわたり審査を行いました。

▼一回目の委員会では三浦市上水道事業審議会の検討経過を、二回目の委員会では審議会の答申内容について説明を受け、それぞれ質疑を行いました。

委員からは、水道料金引き上げに対する懸念や、市民への情報発信を積極的に行うこと等について意見が出されました。

▼三回目の委員会では、情報発信をするための広報紙や、三浦市営水道事業の課題解決に向けた検討会での協議内容を説明を受け、質疑を行いました。

議会の活動から

▼委員協議会を市立病院で開催しました(三月四日)

都市厚生常任委員会散会後の委員協議会では、「三浦市立病院について」の報告を求めました。

市立病院を訪問し、これまでの経営状況や平成三十年度の決算見込み、医師等の採用予



定について、総病院長を初めとする病院職員から説明を受け、質疑を行いました。

本会議における討論

議案第14号 平成31年度三浦市一般会計予算

反対討論 日本共産党 小林直樹

市の正規職員数は、定数より二百十五名少ない。市民サービスが低下しないよう、実情に合わせた適切な職員採用を求める。

環境への負担を少なくし、市の支出を減らすために、ごみの分別・減量の推進が求められる。来年一月に新たな分別区分と収集曜日が始まるので、十分な周知が必要である。

就学援助制度は、学用品費と新入学学用品費の支給額が国基準の二分の一であるなど、不十分な制度になっている。全ての子どもたちが安心して教育を受けられるようにすることを求める。

地域経済と市民生活は大変な状況が続く。市財政も厳しい状況になっている。無駄をなくし、公正で民主的な市民本位の行政運営で、市民生活と営業を守ることを求めて、反対する。

賛成討論 公明党 藤田 昇

人口減少が続き、依然として厳しい財政状況の中、すべての事業について聖域なく見直し、その結果、財源対策検討委員会による十の取り組みを行い、約二億一千万円の結果が出ていることは、一定の評価ができる。

また、さまざまな観光振興や、三崎漁港を中心とした地域活性化、子育て賃貸住宅等整備による転入促進・転出抑制への取り組みは、地域や市内経済の活性化に大変期待ができる。

平成三十一年度も、二町谷埋立地への企業誘致促進や、三崎漁港の高度衛生管理、六次経済の推進、広域幹線道路整備など、さまざまな課題が山積している。

平成から次の時代へ変わる節目の年を、吉田市長と職員が一丸となり、市民生活の安全・安心と生活向上が図られる市政運営を期待して、賛成する。

賛成討論 みうら市政会 出口眞琴

厳しい財政状況の中、財源対策検討委員会では歳入増加策、歳出削減策の見直しを行い、約二億一千万円の効果額を予算に反映させている。

歳入では、市税の収納率向上や、ふるさと納税の活性化等を行い、歳出では、来遊客の増加を図るための観光振興や小中学校の生活・学習環境の向上などに努めている。

昨年の三浦国際市民マラソンでの職員の不祥事については、全容説明、再発防止と市民への説明をしていくこと、今後も継続して大会の開催と成功を目指すことを強く望む。

課題は山積しているが、予算審査特別委員会での審査内容を十分に精査し、吉田市長を初め、職員が一丸となり市民生活の向上が図れる市政運営を期待して、賛成する。

賛成討論 自由民主党 出口正雄

三十一年度予算は、最重要課題である人口減少と財政健全化、水道事業の経営安定化に対応するため、総合計画の基本計画に掲げた重点施策と財源対策検討委員会による見直しに沿って編成された。その特徴は、市民交流拠点の供用開始、小中学校の普通教室へのエアコン設置など、生活環境安定型の予算である。

歳入では、市税や地方交付税による増額を計上しているが、市債発行額が元金償還額を上回っているため、今後も健全な財政運営に努めていきたい。

歳出では、市民交流センターがオープンすることによる市民活動の活性化や、ごみ処理事業の効率化・安定化などに期待する。

予算審査特別委員会での助言や意見を生かし、市民生活の向上を目指すことをお願いして、賛成する。

本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】	第1号 三浦市子育て賃貸住宅等PFI事業審議会条例	第13号 平成30年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
第2号 三浦市個人情報保護条例の一部を改正する条例	第17号 平成31年度三浦市介護保険事業特別会計予算	第18号 平成31年度三浦市市場事業特別会計予算
第5号 三浦市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	第21号 平成31年度三浦市病院事業会計予算	第23号 市道路線の認定、廃止及び変更について
第6号 三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例	第24号 平成30年度三浦市一般会計補正予算(第5号)	第25号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
第7号 指定管理者の指定について(三浦市民交流センター)	第26号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
第8号 指定管理者の指定の変更について(三浦市立上宮田児童会館)		
第9号 平成30年度三浦市一般会計補正予算(第4号)		
第10号 平成30年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		
第11号 平成30年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		
第12号 平成30年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第4号)		

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番号	件名	審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属			
			岩野 匡史	長島満理子	神田 真弓	出口 真琴	草間 道治	布川 照美	石橋むつみ	小林 直樹	藤田 昇	出口 正雄	下田 剛	木村 謙蔵	寺田 一樹	
【議案】 第3号	三浦市市税条例等の一部を改正する条例	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
第4号	三浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
第14号	平成31年度三浦市一般会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
第15号	平成31年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	※	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
第16号	平成31年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
第19号	平成31年度三浦市公共下水道事業特別会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
第20号	平成31年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
第22号	平成31年度三浦市水道事業会計予算	原案可決		○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に加わらない

人事

市長から、監査委員及び固定資産評価審査委員会委員を選任するための議案が提出され、原案のとおり同意することに決しました。

監査委員

長治 克行氏

固定資産評価審査委員会委員

三富 和夫氏



議会を傍聴しませんか

改選後、初の議会となる臨時会は、5月の中旬ごろに招集され、正副議長や各委員会委員の選出などを行います。

第2回定例会(6月)の日程は、臨時会開催後に決まりますので、三浦市議会だより第137号(6月1日発行予定)や三浦市議会ホームページからご確認ください。

今後提出される請願・陳情は、第2回定例会で審査されます。

そのほか市議会に関することは、議会事務局までお問い合わせください。

電話 046(882)1111

内線 462・463

任期末のあいさつ

▼四月三十日をもって第十六期議員は任期満了を迎えました。定例会の最終日、全日程の終了後には、岩野議長から挨拶が述べられました。

(挨拶の概要)

議長を務めた八年間で、特に象徴的な出来事は東日本大震災と復興を目指した活動でした。また、三浦国際市民マラソンにおける職員による使い込みについて、行政のチェック機能が果たせなかったことは痛恨のきわみです。

平成二十七年の就任以来、市民が安心して豊かに暮らせる町を実現するために、議員一人一人が全力で取り組んできました。ご支援いただいた市民の皆様、市長並びに補助執行機関の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

